



# **ServerView Suite ServerView Virtual-I/O Manager 補足情報**

## ■ はじめに

本書は、ServerView Virtual-IO Manager V3.5に関連する以下のマニュアルの補足情報です。本書をお読みに  
なる前に、必ず以下のマニュアルもご覧ください。

- ・ ServerView Virtual-IO Manager V3.5 取扱説明書 (sv-viom-jp.pdf)
- ・ ServerView Virtual-IO Manager CLI V3.5 – Command Line Interface (sv-viomcli-jp.pdf)

## ■ 対象バージョン

本書は、以下のバージョンの ServerView Virtual-IO Manager(以下 VIOM)を対象にしています。

**本書の対象バージョン : V3.5**

## ■ 補足情報

### (1) ライセンスおよび製品サポート

Virtual-IO Manager をご使用になるにはライセンス購入が必要です。管理対象のサーバ数のライセンスを用意してください。

- ・ ライセンスは有償です。1 ターゲットサーバブレード毎に 1 ライセンスが必要です。
- ・ Virtual-IO Manager では有償サポートメニューをご用意しています。万が一のトラブル対応等につきましては、SupportDesk 契約が必要となります。ライセンス購入されても、本製品に対するサポート契約を締結されていない場合は、QA 対応やトラブル対応を実施することができません(有償サポート契約がある場合のみ対応可能)。本製品はその性格上、システム構築時より利用するケースが多いため、システム構築時よりサポート契約を締結頂くことを推奨いたします。
- ・ 従来のライセンス製品 (PG-SVVM01) を VIOM V2.4 以降で 사용할 ことができます。1 ライセンス当たり、18 サーバライセンスとして計上されます。

### (2) マニュアル、リリースノート

- ・ インストーラが格納されているフォルダに日本語版のリリースノート(ReadMe\_ja.htm)が格納されています。
- ・ リリースノートの「1.2 納品」に記載されている ServerView Software CD および Virtual-IO Manager のライセンスの注文番号は海外における注文番号です。日本国内での注文番号につきましては、システム構成図にてご確認ください。

### (3) システム要件

- ・ 32 ビット Java Runtime Environment (以下 JRE) が必要です。64 ビット JRE では動作しません。必ず 32 ビット JRE をインストールの上、32 ビット Internet Explorer を使用してください。32 ビット JRE と 64 ビット JRE の共存は可能です。
- ・ JRE 8 は VIOM の操作画面を表示する Web 端末 (WEB ブラウザを表示するクライアントマシン) では使用できます。VIOM をインストールする管理サーバでは JRE8 を使用することはできません。管理サーバでは JRE7 を使用してください。
- ・ リリースノート (Readme\_jp.htm) の「2.2 必要なハードウェア」に記載されている要件は、Operations Manager の要件を含む推奨値です。
- ・ ViomDB のバックアップデータをリストア (復元) するときには、Microsoft 社が Web 等で提供している SQL Server Management Studio または SQL Server Enterprise Manager が必要です。リストアする可能性があるシステムでは、リストア運用に備えて、本ソフトウェアを別途入手の上導入してください。

### (4) Virtual-IO Manager V3.5 のサポート状況およびサポート前提要件

Virtual-IO Manager V3.5 のサポート状況およびサポート前提要件について記載します。なお、未サポートのハードウェアにつきましては、新バージョンの VIOM でサポートしている可能性がありますので、弊社のインターネット情報ページにて新バージョンのリリース状況も合わせてご確認ください。

- ・ 各ハードウェアの PXE ブート、iSCSI SAN ブート、FC SAN ブートの対応状況につきましては、各ハードウェアのドキュメントにてご確認ください。オンボードコントローラの場合は PRIMERGY 本体のドキュメントになります。

#### ■ ブレードサーバ

| ハードウェア                         | サポート可否 | BIOS / ファームウェア                     | 管理番号※1  |
|--------------------------------|--------|------------------------------------|---------|
| BX600 Sx シャーシ / BX600 ブレード全モデル | × ※2   | -----                              | -----   |
| BX900 S1 シャーシ                  | ○      | MMB Firmware 4.85 以降※3             | PGY0941 |
| BX900 S2 シャーシ                  | ○      | 全バージョン                             | -----   |
| BX400 S1 シャーシ                  | ○      | MMB Firmware 6.33 以降※3             | PGY0822 |
| BX920 S1                       | ○      | BIOS 3B39 / iRMC Firmware 4.84G 以降 | PGY0762 |
| BX920 S2                       | ○      | 全バージョン                             | -----   |
| BX920 S3                       | ○※9    | 全バージョン※4※13                        | PGY0922 |
| BX920 S4                       | ○      | 全バージョン※13                          | -----   |
| BX922 S2                       | ○      | 全バージョン                             | -----   |
| BX924 S2                       | ○      | 全バージョン                             | -----   |
| BX924 S3                       | ○※9    | 全バージョン※4※13                        | PGY0923 |
| BX924 S4                       | ○      | 全バージョン※13                          | -----   |
| BX960 S1                       | ○      | BIOS 1.16 / iRMC Firmware 5.20G 以降 | PGY0970 |
| BX2560 M1                      | ○      | 全バージョン                             | -----   |
| BX2580 M1                      | ○      | 全バージョン                             | -----   |

|                                                    |         |                                 |          |
|----------------------------------------------------|---------|---------------------------------|----------|
| スイッチブレード (1Gbps 36/12)                             | ○       | 2.14、または 3.10 以降                | PGY0710  |
| スイッチブレード (1Gbps 36/8+2)                            | ○※5※6   | 2.18、または 4.14 以降                | PGY0710  |
| スイッチブレード (1Gbps 18/6)                              | ○※5     | 全バージョン                          | -----    |
| スイッチブレード (10Gbps 18/8)                             | ○※5     | V02.00 NY0040 以降※7              | PGY0813  |
| スイッチブレード (10Gbps 18/8+2)                           | ○※14    | V1.01 NY0024 以降                 | PGY0902  |
| LAN バススルーブレード (10Gbps 18/18)                       | ○       | 全バージョン                          | -----    |
| コンバインドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6)<br>[VDX 2730]       | ○※10※11 | -----                           | -----    |
| Cisco Nexus B22 Blade Fabric Extender              | ○※10    | -----                           | -----    |
| コンバインドファブリックスイッチブレード<br>(10Gbps 18/8+2)            | ○※10    | -----                           | -----    |
| ファイバーチャネルスイッチブレード (8Gbps 18/8)                     | ○※10    | 全バージョン                          | -----    |
| ファイバーチャネルバススルーブレード (8Gbps 18/18)                   | ○※10    | 全バージョン                          | -----    |
| ファイバーチャネルスイッチブレード (16Gbps 18/8)                    | ○       | 全バージョン                          | -----    |
| LAN 拡張ボード (1Gbps)                                  | ○       | 全バージョン                          | -----    |
| LAN 拡張ボード (10Gbps)                                 | ○       | 全バージョン※8                        | -----    |
| ファイバーチャネル拡張ボード (8Gbps)                             | ○       | ファームウェア 1.11A5 / BIOS 3.11A5 以降 | PGY0777  |
| Dual port ファイバーチャネル拡張ボード (16Gbps)                  | ○       | V10.2.405.13 以降                 | ダウンロード検索 |
| コンバインド・ネットワーク・アダプタ拡張ボード<br>(PG-CND201, MC-CNA102E) | ×       | -----                           | -----    |
| コンバインド・ネットワーク・アダプタ拡張ボード<br>(PY-CND02, MC-CNA112E)  | ○※9     | V4.0.487.19 以降※12※13            | ダウンロード検索 |

※1) 管理番号は下記 BIOS / ファームウェア 一覧ページの管理番号になります。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/bios/>

ダウンロード検索と記載されているものにつきましては、下記ダウンロード検索ページから最新版を入手してください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/>

※2) BX600 Sx シャーシ / BX600 ブレード全モデルのサポート予定はありません。

※3) 搭載ハードウェアによっては、より新しい MMB Firmware が必要になる場合があります。搭載ハードウェアの要件を必ずご確認ください。

※4) 不具合修正のため、最新の BIOS / ファームウェアの適用を推奨します。

※5) VLAN グループ拡張機能 (tagged オプション) 及びタグ付き VLAN ネットワークを使用する場合はファームウェアをアップグレードする必要があります。スイッチブレード (1Gbps 36/12) は 6.14 以降 (管理番号: PGY0710) を適用する必要があります。スイッチブレード (1Gbps 36/8+2) は 6.24 以降 (管理番号: PGY0710) を適用する必要があります。スイッチブレード (1Gbps 18/6) は 6.14 以降 (管理番号: PGY0710) を適用する必要があります。スイッチブレード (10Gbps 18/8) は V03.00 NY0072 以降 (管理番号: PGY0708) を適用する必要があります。

※6) スタッキング構成のスイッチブレード (1Gbps 36/8+2) の場合、MMB Firmware をアップグレードする必要があります。BX900 S1 シャーシ/BX900 S2 シャーシの MMB Firmware は v5.05 以降を適用する必要があります。BX400 S1 シャーシの MMB Firmware は v6.56 以降を適用する必要があります。

※7) BX924 S3 を接続する場合はファームウェアをアップグレードする必要があります。ダウンロード検索からサポートバージョンを入手してください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/>

※8) LAN 拡張ボード (10Gbps) を搭載した BX920 S1、BX922 S2、BX920 S2 は BIOS / ファームウェアのアップグレードが必要です。BX920 S1 に搭載する場合、BIOS 3B52 / iRMC Firmware 4.98G 以降 (管理番号: PGY0762) を適用する必要があります。BX922 S2 に搭載する場合、BIOS 3C56 / iRMC Firmware 4.98G 以降 (管理番号: PGY0758) を適用する必要があります。BX920 S2 に搭載する場合、BIOS 3C56 / iRMC Firmware 4.98G 以降 (管理番号: PGY0759) を適用する必要があります。

※9) 管理対象サーバで Windows Server 2012 が動作している場合、CNA ファームウェア 4.2.401.25 以降を適用する必要があります。

※10) 搭載したブレードシャーシを Virtual-IO Manager の管理対象にすることはできませんが、ネットワーク設定情報の表示や

設定はできません。

※11) LAN 拡張ボード (1Gbps)や LAN 拡張ボード (10Gbps)を接続した環境は未サポートです。また、接続しているコントローラにて FCoE を使用することはできません。

※12) CNA ファームウェア 4.6.313.14 以降を使用する場合、以下の対処を実施してください。

-OS のネットワークアダプタに VLAN ID を設定する。

-CNA の LAN 機能が接続されているコネクショブレードのポートを設定する。上記 VLAN ID で OS から送信されるタグ無しパケットを受け取って、VLAN タグを取得するように設定する。

※13) BX2560 M1 に搭載する場合、CNA ファームウェア 10.2.405.13 以降を適用する必要があります。

※14) IBP モードの場合、ネットワーク設定情報の表示や設定ができますが、DCB や FCoE に関する設定はできません。

Switch モードおよび EHM の場合、Virtual-IO Manager で管理することはできますが、ネットワーク設定情報の表示や設定はできません。

## ■ラックマウントサーバ

| ハードウェア                                       | サポート可否 | BIOS / ファームウェア                                                              | 管理番号※1   |
|----------------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------|----------|
| RX100 S7                                     | ×      | -----                                                                       | -----    |
| RX100 S8                                     | ○      | BIOS 1.11.0 / iRMC Firmware 7.22F 以降                                        | PGY0854  |
| RX200 S7                                     | ○※2※6  | BIOS 1.8.0 / iRMC Firmware 6.51A 以降                                         | PGY0775  |
| RX200 S8                                     | ○      | 全バージョン                                                                      | -----    |
| RX300 S7                                     | ○※2    | BIOS 1.7.0 / iRMC Firmware 6.50A 以降                                         | PGY0774  |
| RX300 S8                                     | ○      | 全バージョン                                                                      | -----    |
| RX350 S7 / TX300 S7                          | ○※2    | BIOS 1.7.0 / iRMC Firmware 6.50A 以降                                         | PGY0776  |
| RX350 S8 / TX300 S8                          | ○      | 全バージョン                                                                      | -----    |
| RX500 S7                                     | ×      | -----                                                                       | -----    |
| RX600 S6                                     | ×      | -----                                                                       | -----    |
| マルチノードサーバ CX400                              | ×      | -----                                                                       | -----    |
| RX1330 M1                                    | ○      | BIOS 2.10.0 / iRMC Firmware 7.68F 以降                                        | PGY0855  |
| RX2520 M1                                    | ○      | 全バージョン                                                                      | -----    |
| RX2530 M1                                    | ○      | 全バージョン                                                                      | -----    |
| RX2540 M1                                    | ○※11   | BIOS 1.11.0 / iRMC Firmware 7.69F 以降                                        | PGY0894  |
| RX4770 M1                                    | ○※12   | BIOS 1.23.0 / iRMC Firmware 7.68F 以降                                        | PGY0862  |
| RX2560 M1                                    | ○      | 全バージョン                                                                      | -----    |
| TX2560 M1                                    | ○      | 全バージョン                                                                      | -----    |
| RX4770 M2                                    | ×      | -----                                                                       | -----    |
| ファイバーチャネルカード (8Gbps) (PY-FC201/L)            | ○      | BootBIOS 6.30a1/ Firmware 2.00a4 以降<br>(ファームウェア/BootBIOS アップデートツール V3.0 以降) | ダウンロード検索 |
| Dual port ファイバーチャネルカード (8Gbps) (PY-FC202/L)  | ○      | BootBIOS 6.30a1/ Firmware 2.00a4 以降<br>(ファームウェア/BootBIOS アップデートツール V3.0 以降) | ダウンロード検索 |
| ファイバーチャネルカード (16Gbps) (PY-FC221/L)           | ○※10   | 全バージョン※8                                                                    | -----    |
| Dual port ファイバーチャネルカード (16Gbps) (PY-FC222/L) | ○※10   | 全バージョン※8                                                                    | -----    |
| ファイバーチャネルカード (8Gbps) (PY-FC211/L)            | ×      | -----                                                                       | -----    |
| Dual port ファイバーチャネルカード (8Gbps) (PY-FC212/L)  | ×      | -----                                                                       | -----    |

|                                                |       |                  |          |
|------------------------------------------------|-------|------------------|----------|
| コンバージド・ネットワーク・アダプタ<br>(PY-CN202/L, OCE10102-F) | ○※3※5 | V4.0.487.19 以降※9 | ダウンロード検索 |
| コンバージド・ネットワーク・アダプタ<br>(PY-CN302/L, OCE14102)   | ○※13  | V10.2.405.18 以降  | ダウンロード検索 |
| Dual port LAN カード(1000BASE-T) (PY-LA222)       | ○※2   | 全バージョン           | -----    |
| Quad port LAN カード(1000BASE-T) (PY-LA234)       | ○※2   | 全バージョン           | -----    |
| Dual port LAN カード(10GBASE) (PY-LA242)          | ○※2   | 全バージョン           | -----    |
| LAN カード(1000BASE-T)                            | ×     | -----            | -----    |
| LAN カード(1000BASE-SX)                           | ×     | -----            | -----    |
| Dual port LAN カード(1000BASE-T) (PY-LA232)       | ○※4   | 全バージョン※7         | -----    |
| Quad port LAN カード(1000BASE-T) (PY-LA244)       | ○※4   | 全バージョン※7         | -----    |
| Dual port LAN カード(10GBASE-T) (PY-LA252)        | ○※4   | 全バージョン※7         | -----    |
| Quad port LAN カード(1000BASE-T) (PY-LA264)       | ○※4   | 全バージョン※7         | -----    |
| Dual port LAN カード(1000BASE-T) (PY-LA262)       | ○※4   | 全バージョン※7         | -----    |
| Dual port LAN カード(10GBASE) (PY-LA3B2)          | ○     | V10.2.405.33 以降  | ダウンロード検索 |

※1) 管理番号は下記 BIOS / ファームウェア一覧ページの管理番号になります。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/bios/>

ダウンロード検索と記載されているものにつきましては、下記ダウンロード検索ページから最新版を入手してください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/>

※2) 管理対象のサーバで WindowsOS を使用する場合、最新の LAN ドライバ(Onboard/PG-28xx/LND20x/PY-LAxxx LAN Driver & Intel (R) PROSet v16.8 以降)を適用してください。

管理対象のサーバで LinuxOS を使用する場合、最新のドライバキット(2.6.18-274.el5 以降、2.6.32-131.0.15.el6 版以降)を適用してください。また、RX300 S7 は BIOS 1.11.0 / iRMC Firmware 6.53A 以降(管理番号: PGY0774)を適用する必要があります。RX350 S7 / TX300 S7 は BIOS 1.11.0 / iRMC Firmware 6.53A 以降(管理番号: PGY0776)を適用する必要があります。

※3) ラックマウントサーバ本体の BIOS / ファームウェアのアップグレードが必要です。RX300 S7 は BIOS 1.11.0 / iRMC Firmware 6.53A 以降(管理番号: PGY0774)を適用する必要があります。RX350 S7 / TX300 S7 は BIOS 1.11.0 / iRMC Firmware 6.53A 以降(管理番号: PGY0776)を適用する必要があります。

※4) ラックマウントサーバ本体の BIOS / ファームウェアのアップグレードが必要です。RX200 S7 は BIOS 2.16.0 / iRMC Firmware 6.53A 以降(管理番号: PGY0775)を適用する必要があります。RX300 S7 は BIOS 1.16.0 / iRMC Firmware 6.53A 以降(管理番号: PGY0774)を適用する必要があります。RX350 S7 / TX300 S7 は BIOS 1.16.0 / iRMC Firmware 6.53A 以降(管理番号: PGY0776)を適用する必要があります。

※5) 管理対象サーバで Windows Server 2012 が動作している場合、CNA ファームウェア 4.2.401.25 以降を適用する必要があります。

※6) RX200 S7 の BIOS 2.4.0 は VIOM に未対応のため使用できません。

※7) RX100 S8、RX200 S8、RX300 S8、RX350 S8 / TX300 S8 において Windows Server 2012(R2 を含む)を使用する場合、Onboard/PY-LAxxx LAN Driver & Intel(R) PROSet V18.5 以降 を使用してください。

※8) RX100 S8、RX200 S8、RX300 S8、RX350 S8 / TX300 S8 で使用する場合、ファームウェア(V1.1.43.202 以降)を適用してください。

※9) CNA ファームウェア 4.6.313.14 以降を適用しないでください。プロファイルを解除した後、仮想化アドレスが解除されない問題が発生します。

※10) ラックマウントサーバ本体の BIOS / ファームウェアのアップグレードが必要です。RX200 S7 は BIOS 2.21.0 / iRMC Firmware 6.55A 以降(管理番号: PGY0775)を適用する必要があります。RX300 S7 は BIOS 1.24.0 / iRMC Firmware 6.55A 以降(管理番号: PGY0774)を適用する必要があります。RX350 S7 / TX300 S7 は BIOS 1.24.0 / iRMC Firmware 6.55A 以降(管理番号: PGY0776)を適用する必要があります。RX200 S8、RX300 S8、RX350 S8 / TX300 S8 は BIOS 1.3.0 / iRMC Firmware 7.16F 以降を適用する必要があります。

※11) CNA ファームウェア 10.2.405.18 以降を適用する必要があります。

※12) RX4770 M1 においてオンボード LAN の PXE ブートは未サポートです。

※13) RX4770 M1 においてコンバージド・ネットワーク・アダプタ(PY-CN302)の IO 仮想化はレガシーモードのみサポートしています。

#### **(5) インストール時に入力した指定 MAC アドレスおよび WWN アドレスの妥当性チェックは行いません**

インストール時に入力した指定 MAC アドレスおよび WWN アドレスにつきまして、妥当性のチェックは行いません。正しいアドレスを入力したことをよく確認した上で、次の画面に進んでください。

#### **(6) インストール後に Java キャッシュデータを消去してください**

Virtual-IO Manager をインストールした後、Virtual-IO Manager の画面を起動する前に、必ず Java のキャッシュデータ(一時ファイル)を消去してください。コントロールパネルから Java を起動して、一般タブのインターネット一時ファイルの[設定...]ボタンから実施できます。

#### **(7) Virtual-IO Manager のアップデート手順**

アップデートを行う場合、以下の手順で実施してください。

- Virtual-IO Manager V2.1 からのアップデート
  - 1) Virtual-IO Manager V2.2 にアップデートします。
  - 2) Operations Manager V5 以降にアップデートします。
  - 3) Virtual-IO Manager V2.6 にアップデートします。
  - 4) Virtual-IO Manager V3.5 にアップデートします。
- Virtual-IO Manager V2.2 からのアップデート
  - 1) Operations Manager V5 以降にアップデートします。
  - 2) Virtual-IO Manager V2.6 にアップデートします。
  - 3) Virtual-IO Manager V3.5 にアップデートします。
- Virtual-IO Manager V2.3 からのアップデート
  - 1) Virtual-IO Manager V2.6 にアップデートします。
  - 2) Virtual-IO Manager V3.5 にアップデートします。
- Virtual-IO Manager V2.4 以降からのアップデート  
そのまま Virtual-IO Manager V3.5 にアップデートできます。

※Operations Manager をアップデートする前に VIOM のサービスを停止してください。アップデート完了後に起動してください。

- ServerView Virtual IO DB Backup Service (通常は停止状態です)
- ServerView Virtual IO Manager Service

※Operations Manager を V5 以降にアップデートする途中で以下の警告メッセージが表示されますが、問題ありませんので、[OK]をクリックして先に進めてください。

「There are other ServerView Suite products installed. These products will not work after this upgrade

until they are upgraded to the appropriate JBoss versions too.」

#### **(8) ヘルプメニュー**

- ・ ヘルプボタンをクリックしたとき、ヘルプウィンドウが Virtual-IO Manager ウィンドウの後ろに表示されることがあります。タスクバーでヘルプウィンドウをクリックして参照してください。
- ・ 下記の半角記号は特殊文字としての扱いになりますので、検索対象に指定できません。  
! " & | ( ) + \* . ^ ¥ ?
- ・ 検索対象にアルファベットを一文字だけ入力して検索したとき、検索結果が正しく表示されない場合があります。

#### **(9) サーバブレード BX960 S1 を使用する場合**

- ・ BIOS を更新した後、USB メモリは取り外してください。
- ・ iSCSI ブートを設定する場合は、iSCSI ブートチャネルを 2 つ設定してください。また、下のスロット側のオンボードポートに iSCSI ブートのブートチャネルを設定してください。

#### **(10) 同じバージョンの Virtual-IO Manager を再インストールする場合は、VIOM データベースのバックアップ、復元による環境の再構築が可能です。異なるバージョンの場合は、構成のバックアップ／復元により環境を再構築してください。**

#### **(11) コネクションブレードのブート後、セットアップタブの画面において、コネクションブレードの表示が「非冗長 (Degraded)」と表示される場合があります。**

コネクションブレードのブートに 5 分程度かかりますので、5 分～10 分程度待ってから、右上の更新ボタンをクリックして表示を更新してください。

#### **(12) VIOM データベースのバックアップ、復元は同一バージョン間でのみ可能です。別のバージョンで採取したバックアップを V3.5 に復元することはできません。**

#### **(13) Cisco Nexus B22 Blade Fabric Extender を搭載している場合、プロファイルの割り当てができない場合があります。**

BX900 ブレードシャーシは最大 18 台のサーバブレードを搭載できますが、Cisco Nexus B22 Blade Fabric Extender にはダウンリンクポートが 16 個しかありません。そのため、スロット 17 もしくはスロット 18 に搭載しているサーバブレードに対して、Cisco Nexus B22 Blade Fabric Extender のダウンリンクポートを使用するサーバプロファイルを割り当てることはできません。

#### **(14) VIOM のプロファイル編集にて設定から除外した IO チャネルが OS 上で表示されてしまう場合があります。**

VIOM のプロファイル編集にて設定から除外した IO チャネルは OS 上で認識できなくなる仕様ですが、表示されてしまう場合があります。

**(15) ラックマウントサーバのプロファイルを解除して、そのプロファイルを別のラックマウントサーバに割り当てた後、最初のラックマウントサーバのエントリが消えてしまう場合があります。**

消えてしまった場合は、SVOM のサーバリストに再登録してください。

**(16) BX920 S3、BX924 S3、CNA 拡張ボードを使用する場合は以下の点にご留意ください。**

- ・オンボード CNA コントローラ及び CNA 拡張ボードにおいて、Virtual-IO Manager を使って SCSI ブートの設定をしている場合、手動でブートメニューからローカルドライブを選択してもブートすることができません。なお、最新のシステム BIOS (R2.11.0 以降) では修正されています。
- ・オンボード CNA コントローラ及び CNA 拡張ボードにおいて、各ポートの 2 番目のファンクションから PXE でブートすることはできません。(1 番目のファンクションからの PXE ブートは可能です)
- ・オンボード CNA コントローラ及び CNA 拡張ボードにおいて、プロファイルを解除した後、ポートが無効 (Disabled) の状態になります。ポートを有効にするためには、OneCommand Manager をご使用ください。なお、オンボード CNA または CNA 拡張カードの最新のファームウェア (4.0.487.19 以降) では修正されています。
- ・オンボード CNA コントローラ及び CNA 拡張ボードにおいて、3 番目のファンクション情報が OS では表示されません。
- ・オンボード CNA を 1GbE モード x 4 ポートの構成で使用している場合、4 つのポート全てに仮想化 MAC アドレスを割り当てる必要があります。4 つのポートのうち一部のポートだけを使用する場合は、VIOM のプロファイルを適用した後、OneCommand Manager を使って、ポートの有効/無効を正しく設定してください。なお、オンボード CNA または CNA 拡張カードの最新のファームウェア (4.0.487.19 以降) では修正されています。
- ・CNA コントローラにおいて、2 つのポートに SAN ブートを設定しているとき、1 番目のポートからの起動を優先設定しているにもかかわらず、2 番目のポートから優先して起動してしまう場合があります。その場合は、Virtual-IO Manager のプロファイルの設定のうち、2 番目のポートの SAN ブート設定を削除することにより対処してください。なお、CNA の最新のファームウェア (4.6.313.21 以降) では修正されています。

**(17) ラックマウントサーバ、CNA を使用する場合は以下の点にご留意ください。**

- ・CNA (コンバインド・ネットワーク・アダプタ) の Personality を Virtual-IO Manager で設定することができません。プロファイルを割り当てる前に、OneCommand Manager を使って、Personality を事前に設定してください。なお、CNA の最新のファームウェア (4.2.401.25 以降) では修正されています。
- ・CNA コントローラにおいて、2 つのポートに SAN ブートを設定しているとき、1 番目のポートからの起動を優先設定しているにもかかわらず、2 番目のポートから優先して起動してしまう場合があります。その場合は、Virtual-IO Manager のプロファイルの設定のうち、2 番目のポートの SAN ブート設定を削除することにより対処してください。なお、CNA の最新のファームウェア (4.6.313.21 以降) では修正されています。

**(18) オンボード CNA コントローラの動作に合わせてサーバブレードのプロファイルタイプを選択してください。**

プロファイルのタイプは以下を選択してください。

|                        |              |                   |
|------------------------|--------------|-------------------|
| オンボード CNA コントローラの動作モード | プロファイルタイプの選択 | サーバタイプに使用する設定値の選択 |
|------------------------|--------------|-------------------|

|                        |         |                                 |
|------------------------|---------|---------------------------------|
| 1GbE の LAN モードで使用する場合  | サーバブレード | BX92x-S3/S4(LAN)<br>BX25X0(LAN) |
| 10GbE の CNA モードで使用する場合 | サーバブレード | BX92x-S3/S4(CNA)<br>BX25X0(CNA) |

但し、オンボード CNA コントローラに接続されるコネクションブレードスロットに、スイッチブレード（1Gbps 18/6）または LAN パススルーブレード（1Gbps 接続で使用）を搭載している場合は、プロファイルタイプは BX92x-S3/S4(CNA)、BX25X0(CNA)を選択するようにしてください。ポート数も以下のように 2 つに変更してください。

| オンボードカード |     | ネットワーク | タグVLAN | サービス | ブート        |
|----------|-----|--------|--------|------|------------|
| 1        | LAN |        |        |      | ... ブートしない |
| 2        | LAN |        |        |      | ... ブートしない |

**(19) Operations Manager のサーバリストからサーバを削除して再登録する場合は、Virtual-IO Manager のサービスを停止してから実施してください。**

Operations Manager のサーバリストから Virtual-IO Manager で管理しているサーバを削除して再登録する場合、削除する前に Virtual-IO Manager の 2 つのサービスを停止してください。

- ・ ServerView Virtual IO DB Backup Service（通常は停止状態です）
- ・ ServerView Virtual IO Manager Service

サーバをサーバリストに再登録した後、2 つのサービスを起動してください。

**(20) チーミング対象メンバーのアダプタが見えなくなることがあります。**

プロファイルの適用後やサーバ切替え後、OneCommand NIC Teaming and VLANManager にて、チーミング対象メンバーのアダプタが見えなくなる場合があります。マイクロソフト社の Hotfix を適用することにより解決します。

Windows Server 2008 の場合: <http://support.microsoft.com/kb/2487376>

Windows Server 2008 R2 の場合: <http://support.microsoft.com/kb/2344941>

Windows Server 2008 R2 SP1 の場合: <http://support.microsoft.com/kb/2550978>

**(21) JRE Version 6 から Version 7 にアップデートした後、Virtual-IO Manager のファイルを編集する必要があります。**

Windows において、Virtual-IO Manager のインストール後に、JRE Version 6 から Version 7 にアップデートすると、ライセンスマネージャ、Backup Service 設定、ログ収集ツールが動作しません。以下の手順にてファイルを修正してください。

[ファイル編集手順]

- 1) Globals.bat をメモ帳で開きます。

Globals.bat は <ServerView ディレクトリ>%plugins%\viom\Manager\bin 配下にあります。

- 2) 以下の行を編集して、保存します。JRE への正しいパスを設定してください

旧) @set JAVA\_EXE=C:\Program Files\Java\jre6\bin\java.exe

新) @set JAVA\_EXE=C:\Program Files\Java\jre7\bin\java.exe

3) スタートメニューのエントリ License Management のプロパティを開きます。

4) リンク先を編集して、[OK]をクリックします。

旧) "C:\Program Files (x86)\Java\jre6\bin\javaw.exe" -Djava.library.path=(略)

新) "C:\Program Files (x86)\Java\jre7\bin\javaw.exe" -Djava.library.path=(略)

5) スタートメニューのエントリ Backupservice configuration のプロパティを開きます。

6) リンク先を編集して、[OK]をクリックします。

旧) "C:\Program Files (x86)\Java\jre6\bin\javaw.exe" -Djava.library.path=(略)

新) "C:\Program Files (x86)\Java\jre7\bin\javaw.exe" -Djava.library.path=(略)

**(22) Installation Manager の PXE -next boot only 機能を使用する際はプロファイルを解除する必要があります。**

Virtual-IO Manager で IO 仮想化の設定をしている装置において、Installation Manager のリモートインストールの PXE -next boot only の機能は使用できません。本機能を使用する場合は、VIOM の IO 仮想化設定を解除した状態で使用してください。本事象は RX300 S7、TX300 S7、RX350 S7 の BIOS 1.28.0、及び、RX200 S7 の BIOS 2.25.0 で修正されています。

**(23) Virtual-IO Manager の管理対象サーバでは POST 時のブートメニューに PXE ブートを表示できません。**

Virtual-IO Manager で IO 仮想化の設定をしている装置において、POST 時に F12 キーを押して表示されるブートメニューに PXE ブートが表示されません。なお、本事象は RX300 S7、TX300 S7、RX350 S7 の BIOS 1.28.0、及び、RX200 S7 の BIOS 2.25.0 で修正されています。

**(24) Virtual-IO Manager から SQL Server に接続できず、Virtual-IO Manager の操作ができない場合があります。**

Windows OS の hosts ファイルのローカルホスト行にて、localhost が以下のように 3 番目以降に定義されている場合に発生することがあります。

変更前) 127.0.0.1 localhost.localdomain localhost

①                      ②                      ③

localhost が 2 番目になるように hosts ファイルを編集・保存してください。

変更後) 127.0.0.1 localhost localhost.localdomain

①                      ②                      ③

**(25) Operations Manager のサーバリストに vSphere ESXi サーバが動作するサーバブレードを重複して登録している場合、Virtual-IO Manager が OS ログにエラーメッセージを出力することがあります。**

対象のサーバブレードを Virtual-IO Manager で管理している場合に、OS ログに以下のエラーメッセージを出力することがあります。

Internal error caused by an unexpected or missing node object

Server HypervisorName-host (id 1,234) is not managed.

Server BX900S2Chassis¥C01-host (id 1,235) is not managed.

対象のサーバブレード(例では HypervisorName-host と C01-host)にプロファイルを適用している場合、Virtual-IO Managerの画面の「構成」タブにて、状態が「VIOM 設定 OK」と表示されていれば問題はありません。なお、本件は Operations Manager V6.31.05 にて修正されています。

**(26) FCoE ブートを設定したサーバプロファイルを BX2560 M1 から解除した後、オンボード CNA が使用できない状態になることがあります。**

なお、本件は M1 シリーズのオンボード CNA ファームウェア 10.2.405.33 で解決済みです。使用できない状態になった場合は、サーバブレードをブレードシャーシから一旦取り外して、再度挿入してください。

**(27) BX2560 M1 のオンボード CNA の論理分割(UMC)を有効にして iSCSI を使用する場合は、iSCSI に VLAN ID を必ず設定してください。**

なお、本件は M1 シリーズのオンボード CNA ファームウェア 10.2.405.33 で解決済みです。iSCSI に VLAN ID を設定しない状態でも iSCSI を使用することができます。

**(28) Dual port ファイバーチャネル拡張ボード(16Gbps)を搭載したサーバブレードを VIOM で管理する場合、適用するプロファイルでは当拡張ボードのすべてのポートを有効にし、仮想アドレスを割り当てて使用してください。VIOM 管理下で当拡張ボードに仮想アドレスを割り当てずに使用することはできません。**

**(29) SR-IOV の設定は未サポートです。**

**(30) BX2560 M1 のオンボード CNA の論理分割(UMC)を有効にして PXE ブートを設定した後、初回の PXE ブートでは物理 MAC アドレスが使用されます。2 回目以降の PXE ブートで仮想 MAC アドレスが使用されます。**

PXE ブートを設定したサーバプロファイルを適用した後に、PXE ブートが 2 回以上試行されるように運用設計してください。なお、本件は M1 シリーズのオンボード CNA ファームウェア 10.2.405.33 で解決済みです。オンボード CNA の論理分割を有効にして PXE ブートを設定した後、初回の PXE ブートから仮想 MAC アドレスが使用されます。

**(31) BX920 S4 サーバブレードの LAN 拡張ボード(1Gbps)にプロファイルの設定が正しく反映されません。**

BX920 S4 サーバブレードのメザニンカード 1 側に LAN 拡張ボード(1Gbps)を搭載したとき、LAN 拡張ボードのポート 1、2 とポート 3、4 が入れ替わって認識されます。そのため、プロファイルの設定が正しく反映されません。

コネクションブレードスロット 3 と 4 に搭載しているスイッチブレード種別により現象が異なります。

[スイッチブレード(1Gbps 36/12)またはスイッチブレード(1Gbps 36/8+2)を搭載している場合]  
プロファイルの設定が LAN 拡張ボード(1Gbps)の各ポートに以下のように割り当たります。

| ポート番号 | 割り当たる仮想アドレス | 割り当たるブートパラメータ |
|-------|-------------|---------------|
| 1     | ポート 3 用     | ポート 3 用       |
| 2     | ポート 4 用     | ポート 4 用       |

|   |         |         |
|---|---------|---------|
| 3 | ポート 1 用 | ポート 1 用 |
| 4 | ポート 2 用 | ポート 2 用 |

[スイッチブレード(1Gbps 18/6)、パススルーブレード(10Gbps 18/18)、またはスイッチブレード(10Gbps 18/8)を搭載している場合]

LAN 拡張ボード(1Gbps)のポート 1 と 2 に、プロファイルの設定が適用されません。

| ポート番号 | 割り当てる仮想アドレス            | 割り当てるブートパラメータ |
|-------|------------------------|---------------|
| 1     | 適用されません<br>(物理アドレスで動作) | 適用されません       |
| 2     | 適用されません<br>(物理アドレスで動作) | 適用されません       |

VIOM をご使用の場合、プロファイルを次のように作成・編集して、サーバブレードに適用してください。

[スイッチブレード(1Gbps 36/12)またはスイッチブレード(1Gbps 36/8+2)を搭載している場合]

1) IO チャンネル画面で次のように入力します。

| ポート番号 | 機能  | ネットワーク/タグ VLAN/サービス | ブート             |
|-------|-----|---------------------|-----------------|
| 1     | LAN | ポート 1 の接続先を入力       | ポート 3 のブート方法を選択 |
| 2     | LAN | ポート 2 の接続先を入力       | ポート 4 のブート方法を選択 |
| 3     | LAN | ポート 3 の接続先を入力       | ポート 1 のブート方法を選択 |
| 4     | LAN | ポート 4 の接続先を入力       | ポート 2 のブート方法を選択 |

2) 仮想アドレス画面で拡張 1 のポートに次のように入力します。

| ポート番号 | 入力する仮想アドレス |
|-------|------------|
| 1     | ポート 3 用    |
| 2     | ポート 4 用    |
| 3     | ポート 1 用    |
| 4     | ポート 2 用    |

[スイッチブレード(1Gbps 18/6)、パススルーブレード(10Gbps 18/18)、またはスイッチブレード(10Gbps 18/8)を搭載している場合]

1) カード構成画面で拡張カードスロット 1 の IO チャンネル数を 4 にします。

2) IO チャンネル画面で次のように入力します。

| ポート番号 | 機能  | ネットワーク/タグ VLAN/サービス | ブート             |
|-------|-----|---------------------|-----------------|
| 1     | LAN | ポート 1 の接続先を入力       | ブートしない          |
| 2     | LAN | ポート 2 の接続先を入力       | ブートしない          |
| 3     | LAN | 空欄(入力不要)            | ポート 1 のブート方法を選択 |
| 4     | LAN | 空欄(入力不要)            | ポート 2 のブート方法を選択 |

3) 仮想アドレス画面で次のように入力します。

| ポート番号 | 入力する仮想アドレス                             |
|-------|----------------------------------------|
| 1     | 使用しない適当なアドレス<br>(00:00:00:00:00:01 など) |
| 2     | 使用しない適当なアドレス<br>(00:00:00:00:00:02 など) |
| 3     | ポート 1 用                                |
| 4     | ポート 2 用                                |

4) プロファイルを適用する際に「ダウンリンクチェックをスキップする」を有効にします。

**(32) プロファイル作成時、CNA モード及び UMC モードのポートに FCoE/iSCSI を設定する場合は、機能の順番にご注意ください。**

以下のように FCoE/iSCSI が各ポートの 2 番目、3 番目になるように作成してください。

[BX920 S3, BX924 S3, BX920 S4, BX924 S4 のオンボード CNA、及び CNA 拡張ボード(PY-CND02)]

・2x 10Gb CNA モード

| ポート番号 | 機能             |
|-------|----------------|
| 1     | LAN            |
| 1     | iSCSI または FCoE |
| 2     | LAN            |
| 2     | iSCSI または FCoE |

設定例

・2x 10Gb UMC モード

| ポート番号 | 機能             |
|-------|----------------|
| 1     | LAN            |
| 1     | iSCSI または FCoE |
| 1     | LAN            |
| 1     | LAN            |
| 2     | LAN            |
| 2     | iSCSI または FCoE |
| 2     | LAN            |
| 2     | LAN            |

設定例

[BX2560 M1, BX2580 M1, RX2530 M1, RX2540 M1, RX2560 M1, TX2560 M1 のオンボード CNA]

・2x 10Gb CNA モード

| ポート番号 | 機能             |
|-------|----------------|
| 1     | LAN            |
| 1     | iSCSI または FCoE |
| 1     | iSCSI または FCoE |
| 2     | LAN            |

設定例

|   |                |
|---|----------------|
| 2 | iSCSI または FCoE |
| 2 | iSCSI または FCoE |

・2x 10Gb UMC モード

| ポート番号 | 機能             |
|-------|----------------|
| 1     | LAN            |
| 1     | iSCSI または FCoE |
| 1     | iSCSI または FCoE |
| 1     | LAN            |
| 1     | LAN            |
| 1     | LAN            |
| 1     | LAN            |
| 1     | LAN            |
| 1     | LAN            |
| 2     | LAN            |
| 2     | iSCSI または FCoE |
| 2     | iSCSI または FCoE |
| 2     | LAN            |
| 2     | LAN            |
| 2     | LAN            |
| 2     | LAN            |
| 2     | LAN            |

設定例



(33) RX2530 M1、RX2540 M1、RX2560 M1、TX2560 M1 を UEFI で使用している場合、Virtual-IO Manager を使ってオンボード CNA、CNA(PY-CN302)からのブートを設定する場合は、CNA モード及び UMC モードにした上で FCoE/iSCSI を設定してください。

(34) BX2560 M1、BX2580 M1、RX2530 M1、RX2540 M1、RX2560 M1、TX2560 M1 を UEFI で使用している場合、4x 1Gb モードでの iSCSI ブートは未サポートです。

(35) Red Hat Enterprise Linux 6.6 にて、Operations Manager V7.02(x64)と組み合わせて使用している場合、VIOM の GUI 画面がハングすることがあります。

ハングした場合は GUI 画面を再度起動してください。

以上